

さ だ ゆう でん せつ  
佐 太 夫 伝 説



文と絵 くまのの絵本作り隊

むかしむかし、

さかきやまじんじゃ ぐうじ いえ  
榊山神社の宮司さんの家に、

さ だ ゆう  
佐太夫という、とてもやさしい

はたら もの  
働き者がいました。



さ だ ゆう      くう じ      し ご と      お と う と      ゆ ず  
佐太夫さんは、宮司の仕事を弟に譲り、

ひやく しょう      い え      よ う し  
あるお百姓さんの家の養子になりました。

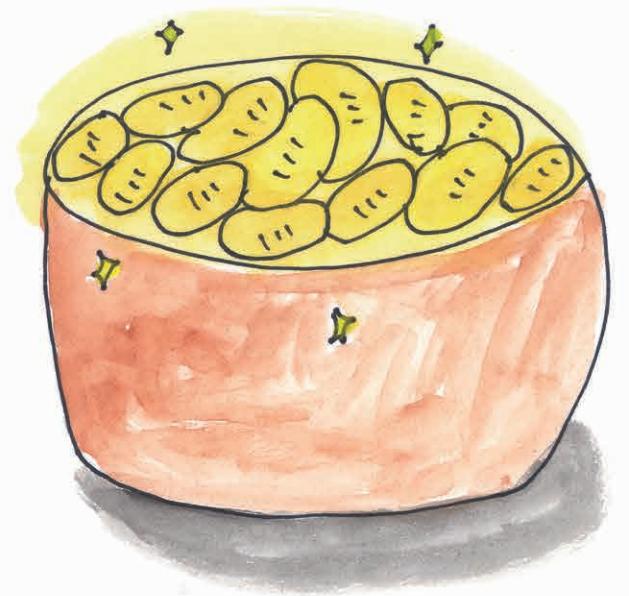
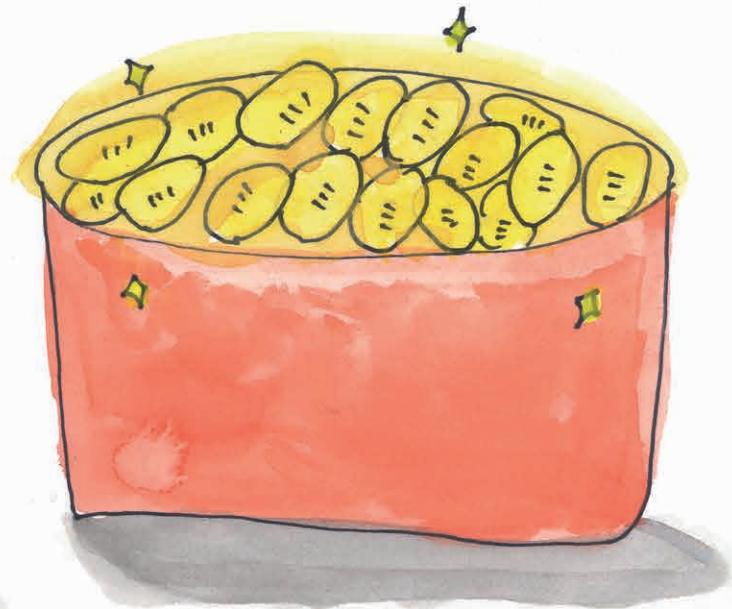
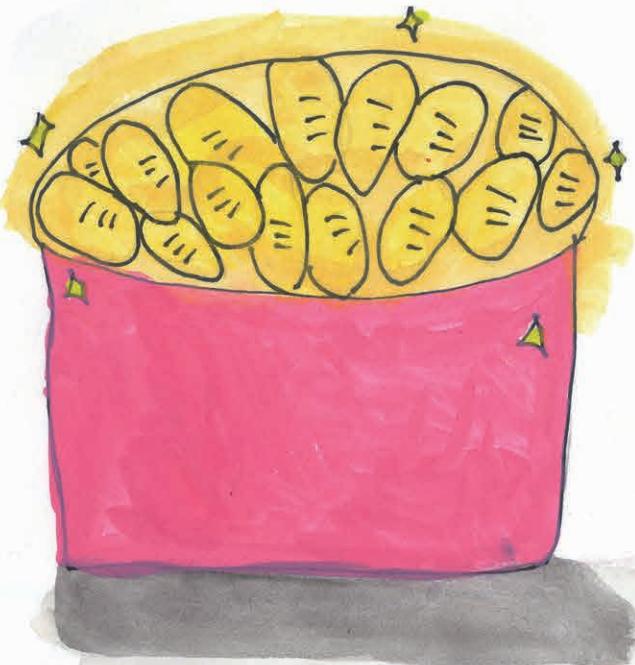


さ だ ゆう      はたら  
そこでも、佐太夫さんは、しっかり働き、

あた ら      と う      か あ      たい せ つ  
新しいお父さんとお母さんを大切にしました。



ある日、<sup>さ だ ゆう</sup>佐太夫さんは  
<sup>いつくしまじんじゃ</sup>巖島神社にお参りに行きました。  
そこで、たまたま  
<sup>かね</sup>たくさんのお金<sup>て</sup>を手に入れました。



いつくしまじんじゃ  
「これは、巖島神社の  
かみさま  
神様がくれんさったにちがない。」



おも しょうじきもの さ だゆう  
そう思った正直者の佐太夫さんは、  
かね じぶん  
そのお金を自分のものにはしないで  
むら わ  
村のみんなに分けてあげました。



さ だ ゆ う  
「佐太夫さん、ありがとうございました。」

さ だ ゆ う  
「ありがとう、佐太夫さん。」

さ だ ゆ う た す  
「佐太夫さんのおかげで、助かりましたわ。」

む ら さ く も つ  
そのころ、村では作物が

あまりとれなくて

こ ま  
困っていました。



さ だ ゆ う か ん し ゃ  
だから、みんなは、佐太夫さんに感謝して、

さ だ ゆ う ひ と く ち ぐ ち い  
「佐太夫さんは、ええ人じゃ。」と、口々に言いました。

さ だ ゆ う そ ん け い  
そして、佐太夫さんを尊敬しました。

